

## 令和3年度小中一貫教育推進研究計画書

### 1 小中一貫教育の取組について

第2期小中一貫教育の取組の教職員への浸透について	<input checked="" type="checkbox"/> 浸透している <input type="checkbox"/> 概ね浸透している <input type="checkbox"/> 浸透していない
令和3年4月現在	課題 各部会による研究・取組の更なる活性化を図る。

#### (1) 目指す児童生徒像について

進捗状況 A:検討中 B:着手済 C:令和2年度から継続 D:令和3年度になって見直し

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容
1	児童生徒像の設定 共通する目指す	A B C D	<p>ブロックの共通する児童生徒像</p> <p>「自信をもって、夢や希望をかたり、社会の担い手として自立できる児童・生徒」</p> <hr/> <p>学校独自の児童生徒像</p> <p>ブロックの児童生徒像と同じ。</p> <p>「自信をもって、夢や希望をかたり、社会の担い手として自立できる児童」</p>
2	身につけさせたい 資質能力	A B C D	<p><b>ブロックでつけさせたい資質・能力</b></p> <p><b>学力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律を身につけ、主体的に授業に臨む資質・能力</li> <li>・家庭学習を継続して取り組むことができる資質・能力</li> </ul> <p><b>生活力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の決まりを守り、心からあいさつができる資質・能力</li> </ul> <p><b>体力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで体力作りに励む資質・能力</li> </ul> <p><b>行事交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係を築き豊かな学校生活を作る資質・能力</li> </ul> <hr/> <p><b>学校でつけさせたい資質・能力</b></p> <p>※ブロックと同様</p> <p><b>学力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律を身につけ、主体的に授業に臨む資質・能力</li> <li>・家庭学習を継続して取り組むことができる資質・能力</li> </ul> <p><b>生活力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の決まりを守り、心からあいさつができる資質・能力 (5カ条)</li> </ul> <p><b>体力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで体力作りに励む資質・能力</li> </ul> <p><b>行事交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係を築き豊かな学校生活を作る資質・能力</li> </ul>

3	合同研修組織の設置	A	<u>合同研修組織部会名等</u> ○運営委員会 ○専門部会 生活・体力向上部会 (明正小) 学力向上・調査統計部会 (光陽中) 行事・交流部会 (川柳小)
		B C	○教科部会 ①国語②算数・数学③社会 ④理科⑤外国語⑥図工・美術 ⑦保健体育⑧音楽⑨技術・家庭⑩特別活動 ⑪特別支援⑫道徳⑬総合的な学習の時間
		D	<u>学校独自の部会名等</u> ・研究組織 ○研修推進委員会 学習指導部 環境整備部 調査統計部

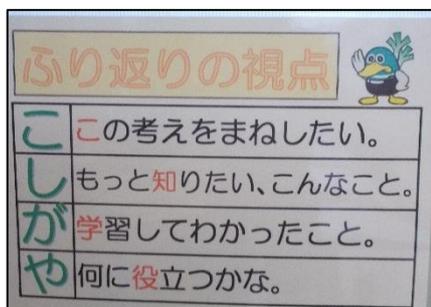
(2)小中一貫教育7つの取組み

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容 (P D C Aで記入)										
4	学習過程の工夫と学習形態の工夫(授業における8つのポイントの活用)	A B C D	<p><u>ブロックでの共通内容・取組内容など</u></p> <p>(○内の番号は「8つのポイント」のポイント番号)</p> <p>③ 思考の流れが分かるノート指導の実践=自分なりの考えやまとめを自分の言葉で書かせる。                  ③ 話し合うことで自分の考えが深まる学習の実践=自分の考えの変化を見つめる振り返りを行う。                  ⑤ 探究的な学習活動を多く取り入れる=魅力ある学習課題の設定。                  ⑦ めあてや課題に正対した振り返りを行う=他教科や生活に活かす視点をもたせる。</p> <p style="text-align: right;">の4点を重点的に取り組む。</p> <p><u>学校独自の内容・取組</u>  <b>【昨年の課題】</b>昨年度一定の成果を見せた「主体的・対話的で深い学びのある授業」の実践を意識し、川柳小授業改善3つの視点(①学習計画・課題の提示の工夫 ②思考スキル・ツールの活用 ③書く活動・話す活動の充実)を重視した研究を進めていく。今年度、越谷市教育委員会から「授業における8つのポイント」が示されたので、それを、本校の課題である3つの視点とリンクさせ、教職員が何にどう取り組めばよいのかを分かりやすく示し実践をより充実させるのが今年度の課題である。  <b>【P】</b>授業における8つのポイントの中から、川柳小授業改善3つの視点と特に関連の深いものを次の4点に絞り、学年主任が中心となって学年会で指導する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>授業における8つのポイント</th> <th>川柳小授業改善3つの視点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポイント③【ノート指導】 考えるためのメモや自分の考えが書かれたノートを作るよう指導する。</td> <td>③書く活動・話す活動の充実 語彙を増やし、自分の考えを膨らませてから書いたり話したりさせる。</td> </tr> <tr> <td>ポイント③【探求・解決】 自分の思いや考えをもたせる。</td> <td>②思考スキル・ツールの活用 ツールを使って考える時間を確保する。 考えを書き留めるノートづくりを指導する。</td> </tr> <tr> <td>ポイント⑤【探求・解決】 思いや考えを広め深めさせる。</td> <td>②思考スキルの活用 ③話す活動の充実 考えを交流し、研ぎ合う時間をつくる。 互いの考えを比較・検討・関連付けさせる。</td> </tr> <tr> <td>ポイント⑦【振り返り】 意図をもった振り返りをさせる。</td> <td>①学習計画・課題提示の工夫 振り返りをもとに、新しい気付きや疑問を引き出し、次の時間の課題へとつなげる。</td> </tr> </tbody> </table>	授業における8つのポイント	川柳小授業改善3つの視点	ポイント③【ノート指導】 考えるためのメモや自分の考えが書かれたノートを作るよう指導する。	③書く活動・話す活動の充実 語彙を増やし、自分の考えを膨らませてから書いたり話したりさせる。	ポイント③【探求・解決】 自分の思いや考えをもたせる。	②思考スキル・ツールの活用 ツールを使って考える時間を確保する。 考えを書き留めるノートづくりを指導する。	ポイント⑤【探求・解決】 思いや考えを広め深めさせる。	②思考スキルの活用 ③話す活動の充実 考えを交流し、研ぎ合う時間をつくる。 互いの考えを比較・検討・関連付けさせる。	ポイント⑦【振り返り】 意図をもった振り返りをさせる。	①学習計画・課題提示の工夫 振り返りをもとに、新しい気付きや疑問を引き出し、次の時間の課題へとつなげる。
授業における8つのポイント	川柳小授業改善3つの視点												
ポイント③【ノート指導】 考えるためのメモや自分の考えが書かれたノートを作るよう指導する。	③書く活動・話す活動の充実 語彙を増やし、自分の考えを膨らませてから書いたり話したりさせる。												
ポイント③【探求・解決】 自分の思いや考えをもたせる。	②思考スキル・ツールの活用 ツールを使って考える時間を確保する。 考えを書き留めるノートづくりを指導する。												
ポイント⑤【探求・解決】 思いや考えを広め深めさせる。	②思考スキルの活用 ③話す活動の充実 考えを交流し、研ぎ合う時間をつくる。 互いの考えを比較・検討・関連付けさせる。												
ポイント⑦【振り返り】 意図をもった振り返りをさせる。	①学習計画・課題提示の工夫 振り返りをもとに、新しい気付きや疑問を引き出し、次の時間の課題へとつなげる。												

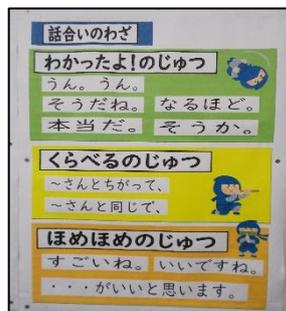
**【D】上記計画を、次のように行い、学習過程、学習計画の充実を図る。**

時期	内容
【つかむ】 4月・5月	①職員会議、研修全体会の機会をとらえて、「授業における8つのポイント」を全教員に指導する。(資料配布) ②研修推進委員会で「道徳における授業づくり」とともに他教科における「授業改善3つの視点」と「授業における8つのポイント」の関連性を指導する。 ③学年主任が中心となり、上記の関連性について学年会で指導する。
【定める】 6月	①8つのポイントのうちのどこに重点をおいて授業を組み立てていくのか、教員各々が自分の目標を絞る。(最低1つ以上) ②自己評価シート当初面談で校長と話し合い、校長が目標を共有する。
【実践する】 6月・7月 9月～11月	①管理職による授業観察で、実践状況を見届けるとともに指導助言をする。 ②教員どうしの学び合いの場として1学期の授業研究会を実施する。 ③指導主事から指導を受ける授業に向けて事前授業、指導を受けた後の事後授業を行うことで各々が自分の実践を充実させる。 ④長期休業中の研修会で、「授業改善3つの視点」に基づく効果的な実践を異学年で交流する。
【振り返る】 10月～2月	①学校評価No.19～20で、自分の実践状況を自己評価する。 ②越谷市「授業改善・学校生活アンケート」No.1～3と14で児童の意識を図るとともに自分の実践をふりかえる。

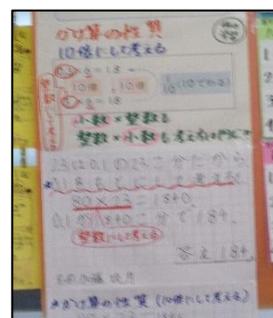
【こ・し・が・やによる振り返りの視点】



【話し合いのわざ】



【算数コーナー】



**【C】越谷市「授業改善・学校生活アンケート(11月)項目No.1～3、14を活用する。**

- ①管理職の授業観察で「授業における8つのポイント」に視点を置いた観察を行う。
- ②越谷市「授業改善・学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、次の3点について変容を検証する。(児童評価と教員の自己評価との差異にも目を向ける。)
  - ・授業では、考えてみたい、やってみたいと感じ進んで課題に取り組みましたか。
  - ・授業では、理由をつけて自分の考えを話したり書いたりしていますか。
  - ・授業で学んだことを他の教科の学習に活かしていますか。
  - ・授業の内容がわかりますか。
- ③学校評価を7月と12月に実施し、変容を検証する。
  - ・授業のめあてを示し、それに正対したまとめと振り返りを行っていますか。
  - ・自分の考えの根拠を明確にさせる授業を意識して行いましたか。
- ④授業研究会を6月と1月に実施し、指導主事から指導助言をいただく。

**ブロックでの共通内容・取組内容など**

- ・教科の特性に応じて課題・問題・予想・考察・練り上げ・振り返り・まとめ、の7項目で板書計画を作成。
- ・考え方の変容などが分かるノートを作成させるために、「考える時間」の十分な確保に重点をおく。

**【昨年の課題】**

- ・授業の流れがわかる板書指導を実践できている。  
特に、国語と算数においては、流れに沿った構造的な板書指導が定着している。今後は、自分の考えの変容がわかるようなノートづくりを発達段階に応じてできるようにしていくことが課題である。
- ・また、令和3年度は、校内の課題研修として道徳科を進めるので、板書の写真を場面絵ケースと一緒に入れるなどして、板書技術を共有できるようにする。

**【P】**

- ・自分の考えの変容がわかるようなノートづくりを発達段階に応じてできるように、①学習過程を工夫したり、②板書を構造化したり、③どの場面で何を書かせるのか示したり、していく。
- ・道徳科においては、児童の視覚に訴える板書の工夫をする。
- ・自分の考えを広めたり深めたりするために授業支援ソフト(ロイロノート)の活用を図る。

A

B

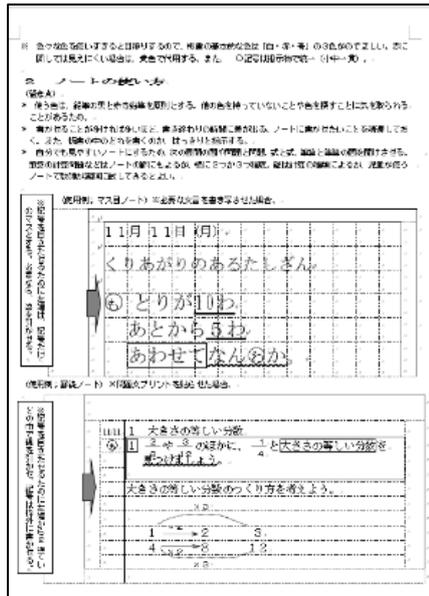
**【D】**

C

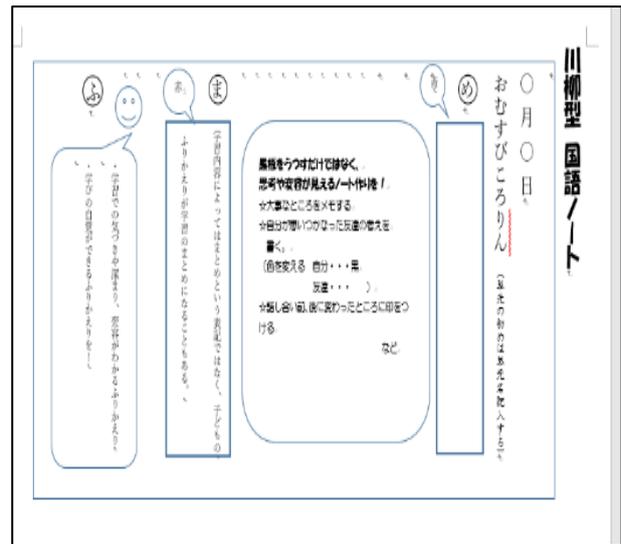
D

時期	担当	内 容
4月	国語部 算数部	川柳小スタンダードノートを作成し、職員会議で共通理解する。考えをもてない児童が少なからずいる実態を踏まえ、授業における8つのポイント④の支援を参考に考えの持たせ方を示す。
5月	道徳部 研修部	道徳の場面絵ケースを整理する。その際に、写真に写した授業の板書を場面絵ケースに入れる。
5月	掲示部	校内の掲示板を各学年に割り当て、それぞれに「グッドノートコーナー」を作成する。
6月～11月	学年会 各担任	学年会で各教科の進度確認をする際に、各々がつくった「学習者ノート」を互いに交換し、板書計画を交流する。
6月～11月	掲示部	各学年から上がってきた「グッドノート」に、どこがグッドなのかを朱書きし、掲示する。
6月～11月	情報部	ロイロのノートの効果的な活用について、先進校から学び、2学期以降は、各担任が3回以上活用する。

【算数ノートスタンダード】



【国語ノートスタンダード】



【グッドノートの掲示】



【C】

- ・越谷市「授業改善・学校生活アンケート」No.14 授業の内容がわかりますか。で検証・改善を図る。
- ・学校評価No.18「45分間の流れがわかる板書指導を実践できましたか。」で検証・改善を図る。

ブロックでの共通内容・取組内容など

- ①時と場に応じた心のこもった挨拶
- ②清掃のやり方
- ③集会時・体育の授業でのハンドサイン
- ④廊下の安全な歩行

A

学校独自の内容・取組

B

【昨年の課題】

3校共通の生活規律においては、新型コロナウイルス感染症の影響により取組が不十分であった事柄がある。全校一律で取り組む生活規律の実践にムラが出ないように指導すること、生活規律定着の確認方法に課題が残っている。

C

D

【P】

- ・全校一律で取り組む5か条のうち、生活規律に関わる「④外遊びと室内遊びの徹底」、「⑤校内ですれちがう大人へのあいさつ」の2項目について、数値目標を教員と共有して実践化する。

[D]

時期	担当	内 容
4月	校長	第1回職員会議で、全校で一律に徹底させることの意義、学級経営を充実させることの意義について教員全体に指導する。
5月	特活部 生徒指導部	室内遊びの基本的ルールについて教員間で確認、その後、児童企画委員会で話し合わせ、全校共通のルールを作る。⇒各学級に広め実践へつなげる。 川柳小生活振り返りアンケートが全校一律で徹底する5か条とリンクできるように改善する。⇒各学級で実施へ。
7月	生徒指導部	④外遊びと室内遊びの徹底 ⑤校内ですれちがう大人へのあいさつの2項目について、定着度と5月からの児童の変容について検討する。
8月	生徒指導研修会	1学期に特に変容の見られた児童について、担任がどのように関わったか、どのような指導が功を奏したかについて研修する。
9月～	全教職員	5月～8月までのサイクルを2学期も同様に実践する。
12月	生徒指導部	④外遊びと室内遊びの徹底 ⑤校内ですれちがう大人へのあいさつの2項目について、定着度と2学期の児童の変容について検討する。
1月	生徒指導部	年間の取組について成果と課題を検討する。⇒次年度の新たな課題を検討する。

～令和3年度 学級経営充実のための5か条～ 【生活振り返り調査2・児童調査】

(1)学 力  
 ○ 2分前着席と予習の指導（心構え） 【2分前着席91%】  
 ○ 学習時間の保証（授業45分 転写20分） 【授業前予習75%】

(2)規 律  
 ○ 机上げの割合（物構え）と姿勢（体構え）指導 【机上げ94%】  
 ○ 休み時間の外遊びの徹底（さらさら運動） 【外遊び92%】

(3)思 い や り  
 ○ 校内ですれ違う大人全員にあいさつ 【あいさつ89%】



[C]

以下のものを活用し検証する。

- ・生活振り返りカード：「外で遊べる休み時間には、外で体を動かして遊んでいますか。」
- ・生活振り返りカード：「校内で、出会った大人にあいさつをしていますか。」
- ・越谷市「授業改善・学校生活アンケート」：「学校の決まりを守っていますか」

**ブロックでの共通内容・取組内容など**

- ①授業2分前着席
- ②学習用具の置き方
- ③忘れ物確認
- ④授業の前後のあいさつ
- ⑤正しい姿勢

**学校独自の内容・取組**

**[昨年の課題]**

「全校一律で取り組む5か条」の定着度に学級差が生じた。全校一律で取り組む5か条の実践にムラが出ないように指導すること、その延長に学年・学級経営を充実させることが課題である。

**[P]**

・全校一律で取り組む5か条のうち、学習規律に関わる①2分前着席と予習（心構え） ③学習時間の保証 ④始業時の机上（物構え）と姿勢（体構え）の指導の3項目について、数値目標を教員と共有して実践化する。

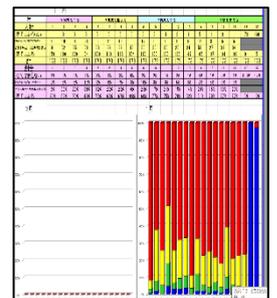
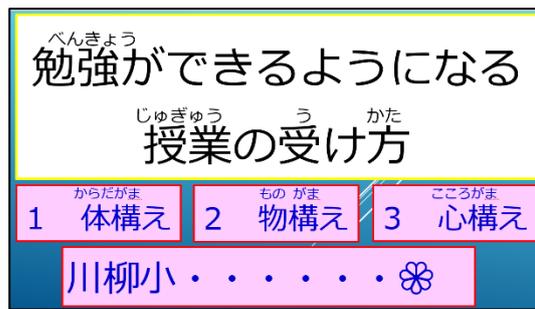
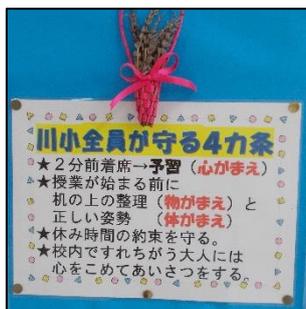


学習規律の共有化

A  
B  
C  
D

[D]

時期	担当	内 容
4月	校長	第1回職員会議で、全校で一律に徹底させることの意義、学級経営を充実させることの意義について教員全体に指導する。
5月	学年会 生徒指導部	2分前着席、予習、机上整理、姿勢、について、よい姿を掲示するなどして、児童にイメージさせる。(学年掲示板の活用)。 川柳小生活振り返りアンケートが全校一律で徹底する5か条とリンクできるように改善する。⇒各学級で実施へ。
7月	生徒指導部	①2分前着席と予習(心構え) ③学習時間の保証 ④始業時の机上(物構え)と姿勢(体構え)の指導の3項目について、定着度と5月からの児童の変容について検討する。
8月	生徒指導研 修会	1学期に特に変容の見られた児童について、担任がどのように関わったか、どのような指導が功を奏したかについて研修する。
9月～	全教職員	5月～8月までのサイクルを2学期も同様に実践する。
12月	生徒指導部	①2分前着席と予習(心構え) ③学習時間の保証 ④始業時の机上(物構え)と姿勢(体構え)の指導の3項目について、定着度と2学期の児童の変容について検討する。
1月	生徒指導部	年間の取組について成果と課題を検討する。⇒次年度の新たな課題を検討する。



[C]

以下の事柄を活用して検証する。

- ・生活振り返りカード：「授業2分前になったら、予習や復習をしていますか。」
- ・生活振り返りカード：「机の整頓、机やロッカーの中の整頓ができていますか。」
- ・越谷市「授業改善・学校生活アンケート」：「学校の決まりを守っていますか」

ブロックでの共通内容・取組内容など

- ・小中において各校種の家庭学習の手引きを作成・配布し、家庭学習の習慣化を図っている。

学校独自の内容・取組

【昨年の課題】

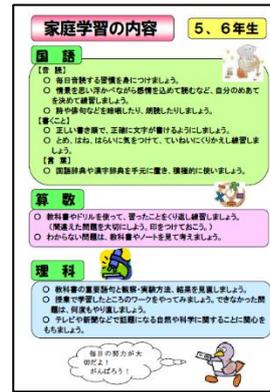
学年で家庭学習の出し方をそろえ、取り組んでいるが、学年の発達段階に応じて、自分で家庭学習を進めていけるような課題の出し方が不十分であった。

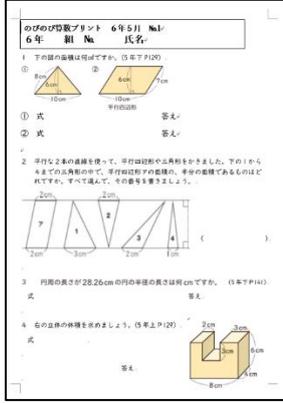
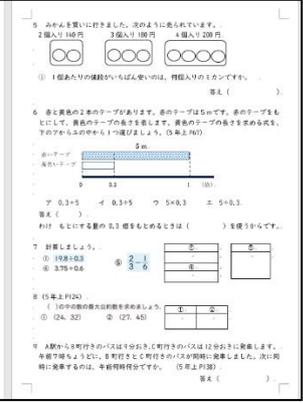
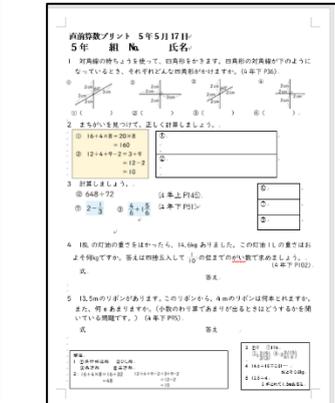
[P]

- ・家庭学習の手引きを活用し、低学年のうちから「家庭での学習習慣」を身につけさせる。

A  
B  
C  
D

家庭学習の統一化  
(家庭との連携)



		<p><b>[D]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年内で児童の実態・段階に応じた課題（朝の活動で取り組んだ内容と同様の内容のプリント等）を与えて取り組ませる。 算数のプリントは算数部が中心となり作成する。解答・解説もプリントと一緒に作成する。 日々の宿題と併せてプリントを配布し、学習習慣の確立を図る。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会や各種通知で周知し連携を図る。</li> </ul> <p><b>[C]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組状況についての確認を行う。</li> <li>・児童の取り組み状況に応じて、学年会や教科等部会で、学習プリントの改善を図る。</li> <li>・保護者アンケート（12月実施）で検証する。</li> </ul>
--	--	--

**(3)学力向上のためのブロックオリジナルの取組**

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容（P D C Aで記入）
9	各種学力調査の分析	A B C D	<p><b>ブロックでの共通分析結果等</b></p> <p>昨年度（R2）は実施していないが、例年、文や図表などの資料を読み取る問題、知識を活用する問題、記述で解答する問題などに課題が見られる。学年差はあるが、過去の全国学調の問題を授業に取り入れ、児童生徒間で学び合う学習を取り入れる。また、質問紙調査では、非認知能力や家庭学習等についての実態を把握し、研究実践の指標とする。また、体力テストの結果を共有し、体育の授業や体育的活動の改善を図る。</p> <p><b>学校の分析結果</b></p> <p>越谷市の検証テストや業者による学力調査から国語や算数において、達成率は上昇している。「繰り返し学習」「根気強い取組」「書く活動」を全校一律で指導した成果が出ていると考える。</p> <p>細かく分析すると国語、算数ともに、①問題文が複雑になると読み取れない。②細部まで気をつけて読み取りことが苦手③文章や資料の中から自分に必要な情報を選んで問題を解くことが苦手、という3点に課題があることが分かった。学習指導要領にある「考えるための技法」で思考を可視化することにより、①教科を越えて児童の思考を助ける、②協働的、対話的な学習をしやすくする、③学習の振り返りの改善に活用する、といった学習活動を一層充実させる。</p>
10	系統図・単元配列表の活用	A B C	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や全国学調の結果から躰き箇所を書き込み、改善策を立てる際に系統的・段階的な指導ができるよう活用する。</li> <li>・これまでの書き込みと今年度の実態を比較し、成果と課題を明確に把握できるようにする。</li> <li>・成果につながった取組についても書き込み、良い取組が全体に広まるようにする。</li> </ul>

		<p><b>学校独自の内容・取組</b></p> <p><b>D</b></p> <p><b>【昨年の課題】</b> 授業を行う際に評価規準を明確にもつことが不十分であった。</p> <p><b>【P】</b> ・学力調査等の検証結果を考察し、躰き箇所を単元配列表に落とし込む。教科部会で協議したことをもとに学力向上を図る。</p> <p><b>【D】</b> ・教科等部会の内容を学年におろし、重点的に指導する単元を配列表で確認し、計画や指導法などを学年全体で話し合い、取り組んでいく。</p> <p><b>【C】</b> ・県や全国の学力学習調査、越谷市検証テスト等で検証する。</p>
11	キャリア教育	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を見通したキャリア教育の実践（系統的指導）</li> <li>・キャリアパスポートの有効活用</li> <li>・生活の基盤となる学級経営について研究を進める。</li> </ul> <p><b>学校独自の内容・取組</b></p> <p><b>【昨年の課題】</b> キャリアパスポート導入初年度であったこと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事の実施ができなかったことから有効な活用にまで至らなかった。</p> <p><b>【P】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明正小と連携を図り、キャリアパスポートの保管方法やファイリング方法を共有し、中学校進学時に、小学校間の差が極力少なくなるようにする。</li> <li>・キャリアパスポートの活用方法を検討し、児童自身が将来の夢や希望がもてるようにする。</li> </ul> <p><b>【D】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の学級開き、各種行事（1年生を迎える会・6年生を送る会等）や総合的な学習の時間を見通して発達段階に応じてキャリアパスポートを活用する。</li> <li>・年間3～5枚のシートの記入を行う。</li> </ul> <div data-bbox="491 1182 903 1496" data-label="Image"> </div> <p><b>【C】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越谷市授業改善・学校生活に関するアンケートで検証。</li> </ul>

(4)自己肯定感の高揚への取組

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容 (P D C Aで記入)
12	越谷市授業改善アンケートの分析 校生活に関するアンケート	A B C	<p><b>ブロックでの共通分析結果等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市11「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う」を肯定的な回答をする児童生徒の割合に課題がある。今後も継続して「認め」「励ます」指導を実践する。</li> <li>・市10「自分には良いところがある」12「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」を肯定的な回答をする児童生徒の割合に課題がある。</li> </ul>

		<p><b>学校の分析結果</b></p> <p>D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「規範づくり」、「学校生活充足感」については、児童・教師ともに高い結果が出ているが、「授業づくり」、「心づくり」においては、教師の意識と児童の意識に差があり、児童のほうが低い傾向がある。</li> <li>・教師側のとらえ方と児童のとらえ方の差を埋めていく必要がある。</li> </ul>
<p>13</p>	<p>自己肯定感を授業の中で高める取組</p>	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・領域の授業において、「良い点を積極的に認める」「仲間と高め合う」場面を意図的に増やし、自己肯定感を高める。</li> <li>・「分かる授業」「成長を実感できる授業」「次の学習を楽しみにする授業」を目指して授業改善をする。(わくわく感のある授業)</li> </ul> <p><b>学校独自の内容</b></p> <p><b>【昨年の課題】</b></p> <p>生徒指導の手引きの活用(校内としての取組)が不十分であり、自己肯定感を高める取り組みの推進に結びつかなかった。「越谷市生徒指導の手引き第7集の「授業における自己肯定感の高揚」の内容を全教員で実践することが課題である。</p> <p><b>【P】</b></p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の手引き P9～P18 (授業におけるポイント)にある授業における教師のはたらきかけの5つのポイントを活用する。特に、「間違っても大丈夫」という雰囲気を作る、に重点を絞る。</li> </ul> <p>B</p> <p><b>【D】</b></p> <p><b>【4月】</b>…職員会議で、校長より「授業における自己肯定感の高揚」について指導する。</p> <p><b>【5月～7月】</b>…研修全体会の機会を捉え、①褒める指導、②聞く指導、③間違えを認める指導、④自己開示する指導、⑤テンポの良い指導 の5つについて、順次指導する。</p> <p>D</p> <p><b>【5月】</b>…生徒指導部会で、生活振り返りアンケートの改善を図り、「授業における自己肯定感の高揚」に沿った項目を検討、導入する。</p> <p><b>【5月～7月】</b>…各学級で生活振り返りアンケートを実施、学年会で、指導の効果と課題について話し合う。</p> <p><b>【8月】</b>…生徒指導全体会で、各学年の実践を全体で交流する。また、効果の上がった取組を共有し、2学期以降の実践につなげる。</p> <p><b>【9月～】</b>…1学期と同様のサイクルで実践する。</p> <p><b>【11月】</b>…越谷市「授業改善・学校生活アンケート」で効果の検証をする。</p> <p><b>【12月～】</b>…教員が、自らの実践を検証し、次年度以降の課題を自己評価シートに記述する。</p> <p><b>【C】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越谷市「授業改善・学校生活アンケート」で検証する。</li> <li>⑩「自分には良いところがあると思いますか。」</li> <li>⑪「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」</li> </ul>
<p>14</p>	<p>自己肯定感を授業以外の場面で高める取組</p>	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年活動の充実</li> <li>・学年、学級での取組を充実させ、発達段階に応じて個と集団の成長を図る。</li> <li>・道徳教育の充実(道徳コーナー、相互授業参観、道徳の系統表)</li> <li>・体験活動や行事の場面で、豊かな人間性を育む。</li> <li>・「いじめ問題」の早期発見、積極的認知、早期対応、継続支援を実践する。</li> <li>・教育相談部会等で学校間の連携を図る。</li> </ul> <p>A</p> <p><b>学校独自の内容・取組</b></p> <p>B</p> <p><b>【昨年の課題】</b></p> <p>C</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学年間交流や異学年間での交流ができなかった。</p> <p><b>【P】</b></p> <p>D</p> <p>感染予防策を徹底したうえで、交流在り方を見直し、様々な形で交流できる機会をつくり、所属感を味わわせ、自己肯定感の高揚を図る。</p> <p><b>【D】</b></p> <p>委員会活動や係活動を段階的に開始し、学級・学校をよりよくするための活動をすることで、所属感・有用感を高めていく。</p> <p><b>【C】</b></p> <p>越谷市授業改善・学校生活に関するアンケート【児童生徒用】質問(10)・(11)・(12)で検証。</p>

(5)学校間の交流

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容 (P D C Aで記入)
15	(行事・学習・作品など) 児童生徒間の交流	A B C D	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同避難訓練 (引き渡し訓練) ・合唱交流</li> <li>・中学生による小学生への進路指導交流</li> <li>・中学生の美術作品を小学校で展示。</li> <li>・小学校間で俳句を交流 ・硬筆や書きぞめの交流</li> <li>・小中合同あいさつ運動</li> <li>・児童会・生徒会合同サミット</li> <li>・中学校教師が小学校において出前授業を行う。</li> <li>・食育の取組 (何でも食べて体力アップ)</li> <li>・掲示物を利用した投力向上・走力向上への取組</li> <li>・児童会・生徒会合同サミット</li> </ul> <p><b>学校独自の内容</b></p> <p><b>【昨年の課題】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から小中間、小小間での交流活動の実施に苦慮した。</p> <p><b>【P】</b> ・感染リスクを低減させながら、可能な活動から実施していく。</p> <p><b>【D】</b> ・電子データやオンラインを活用して、川柳や俳句、図工の作品の交流を行う。</p> <p><b>【C】</b> ・児童アンケートで検証。</p>
16	(合同部会、合同研修 相互授業など) 教師間の交流	A B C D	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会 (研究推進) を実施する。(適時) …昨年度の反省に基づき、検討を進める。</li> <li>・合同全体研究会を実施する。(年2回) …オンラインなどの工夫</li> <li>・毎学期相互授業参観を実施する。…オンラインなどの工夫</li> </ul> <p><b>学校独自の内容・取組</b></p> <p><b>【昨年の課題】</b> ・コロナ禍での実施となったこともあり、運営委員会 (研究推進) での協議内容やアンケート調査の活用が不十分であった。また、ブロック内での共通理解事項の再確認が必要。</p> <p><b>【P】</b> ・運営委員会での協議内容を校内研修の時間を活用して、周知したり取り組みを進めたりする。また、オンラインでの開催も視野に入れる。ブロック内における共通理解事項の再確認を行う。</p> <p><b>【D】</b> ・年次研修や校内研修の際に、授業を見合う。</p> <p><b>【C】</b> ・ブロック内において、越谷市授業改善・学校生活に関するアンケートで検証する。</p>

(6)保護者・地域連携(人材活用、情報発信など)

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容 P D C A
17	地域連携 PTA・	A B	<p><b>ブロックでの共通内容・取組内容など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会において小中一貫教育について議題とする。</li> <li>・各校のホームページに小中一貫教育に関する情報を掲載する。</li> <li>・合同学校保健委員会を開催する。</li> </ul>

		<p><b>C</b> <u>学校独自の内容</u></p> <p><b>D</b> <b>【昨年の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施回数を制限し、協議内容についても縮小したため、熟議が不十分であった。</li> </ul> <p><b>【P】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の学校運営協議会において、小中一貫教育に関する議題を入れ、改良・改善策などの協議を行う。</li> </ul> <p><b>【D】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容については、ホームページに掲載する。</li> </ul> <p><b>【C】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価、学校関係者評価において検証する。</li> </ul>
--	--	---

(7)ブロックオリジナル

NO	取組内容	進捗状況	具体的な内容 P D C A
18	出前授業の実施	A	<u>ブロックでの共通内容・取組内容など</u>
		B	・中学校教員による出前授業を行う。
		C	<u>学校独自の内容</u>
		D	<p><b>【昨年の課題】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかったため、円滑な取り組みとなるよう改めて準備が必要である。</p> <p><b>【P】</b>・光陽中学校の先生に来校いただき、6年生に向けた授業を計画する。 3月中を予定。中学校生活へのめあての確認、不安の軽減を行う。</p> <p><b>【D】</b>・光陽中学校と連携を図り、授業を実施する。</p> <p><b>【C】</b>・小中一貫に係るアンケートで検証する。</p>